

**第4回 Kawa-Bay 未来投資会議
～オープンミーティング～
議事録要旨**

日 時	平成30年2月11日（日）	時間	10:00～11:50
場 所	川辺町中央公民館 1階研修室		
内 容	会議の取り組みと事業提案について町民参加のオープンミーティングにて意見交換		
出席者	別紙名簿のとおり		
<p>▼議事</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) 町長あいさつ</p> <p>(3) 座長あいさつ</p> <p>(4) 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Kawa-Bay未来投資会議の設立趣旨について ・ 3回にわたる会議の協議内容及び町の素案について <p>(5) 参加者との意見交換</p> <p>(6) 町長あいさつ</p> <p>(7) 閉会</p> <p>▼議事概要</p> <p>(1) 開会宣言 企画まちづくり課長</p> <p>(2) 町長あいさつ</p> <p>出席いただいた町民のみなさん、来賓の方々に対してお礼。 今日の会議では、これまでの成果を発表するので、これについて様々な立場からご意見をいただけるようお願いいたします。</p> <p>(3) 座長あいさつ</p> <p>この会議の発端となった「かわべ近未来マップ」について紹介。人口減少、空き家の増加、商工会の衰退といった危機感から、商工会をはじめとした有志団体が集まり、大交流センターなどインフラ整備を含めた壮大なプランを町に対して提言した。しかしながら、この会議を3回開いて議論を進めていくと資金や運営など非常に難しい問題が山積していることがわかってきた。そうは言っても下火にはなったがピアゴが今後撤退する可能性もあり、川辺町中が買い物難民化してしまわないか、強い危機感を感じている。</p> <p>今日はみなさんのご意見をお聞きする中で、この会議と違う方向に行くかもしれないが、一步踏み出すことで川辺町が変わっていく原因になればよいと思っている。内部からこの町を大きく変貌していくきっかけをここで作りたい。どうか忌憚のない意見をいただくようお願いいたします。</p> <p>(4) - 1 Kawa-Bay未来投資会議の設立趣旨について 町長から3回にわたる会議の協議内容及び町の素案について説明。</p>			

(4) - 2 活用策(案)についてプレゼンテーション

資料「比久見の工場跡地の再開発による川辺町の活性化策～(たたき台)」に基づいて、会議ファシリテーターの藤田和廣氏が提案説明。

つづいて町からイメージ図の作成を依頼された前島委員から、図面のコンセプトなどについて補足説明。

これは町からの依頼によって作成したもので、議論を促すための素案であること。町を象徴するロケーションを活かして湖岸線遊歩道と絡めながら、訪れた人々に回遊性をもたらすイメージにしている。

(5) 参加者との意見交換

ファシリテーターの進行による参加者との意見交換。

(Aさん)

一番肝心の資金計画や収益性の説明が無い。川辺町の財政規模でやっていけるのか、民間でやるとしても資本家が現れるのか、いろいろ課題があると思う。ボートで集客を考えているが、町民はあまり関心がない。店を呼び込むにしても町民の憩いの場になるだろうか。高齢者が増える中で、水辺を利用していけるのか。

ハウステンボスやラグーナのように民営化にして、もう少し範囲を拡げてお客さんと呼ばないだろうか。ボート+αの柱が必要。温泉や岩盤浴などは若い人から高齢者にも人気があるのでよいのではないか。

町内には大垣共立銀行の経済研究所に勤めている方もいるので、その方をお願いして、事業を進める上で一番重要な採算性や収益といったお金の話しを研究してもらってみたい。

(Bさん)

東京オリンピックボート事前キャンプ地については、3,000mくらいのコースでないと外国のチームは来てくれない。しかしパラリンピックは1,000mの競技なのでちょうど川辺漕艇場がよい。選手だけでなくコーチや関係者など多くの人々が来られるので、かなり町にお金が落ちると思う。ぜひパラリンピックのチームを誘致してほしい。

工場跡地は、花火大会の駐車場くらいしか使われていない。ここに川辺町の統合小学校を建てたらどうか。川辺西小学校はやがて建て替えが必要になるため、北小学校と東小学校も一緒になった立派な小学校を作れば人口も増えるのではないかと。白川村で取り組まれているような特色ある教育を進め、県下に誇る小学校を作る。お金と時間はかかるが、町長の力で進めていただきたい。

(Cさん)

町民も危機感を持っている。川辺町をどうしていくのか、こういう会を頻繁に開いていただきたいと思う。ボートであればボートを造る産業を集結して採算性を取っていくとよいのではないかと。

川辺町はこれから何で生きていくのかが問題だ。工業なのか、林業なのか農業か、商業か。私は農業だと思う。工場跡地活用というのも大変大事な要素だが、川辺町が何で生きていくのかという視点でも検討していただきたい。

(Dさん)

100年先を見据えた壮大な計画だと感じた。一住民であり川辺中学校テニス部の保護者の立場から、川辺町にはテニスコートが無いのでテニスコートが一つでもあればいいなと何年も思いながら生活してきた。今回の工場跡地利用の計画の話しを聞いたときに、普段の町民が利用できるテニスコートや、日々

使える物を作っていたいただけるとありがたいと思った。今は子どもからシニアまでテニスをするために町外のコートを利用している。中学校のテニスコートは損傷が激しく、先週怪我人も出ているなど日々の練習もままならないことから、この切なる願いを伝えるため今日保護者数名が集まって参加している。

1,000坪ほどの規模なので、工場跡地で無理だとすれば何とか町内にテニスコートを作っていたきたい。

(神農委員)

補足させてください。基本的な柱はポートだが、その副産物としてマップのとおりひょうたん型になっている部分には食べ物屋さんなど商業施設が描かれている。今ご飯が食べたいときには可児や美濃加茂まで行かなければならない。それよりも川辺の町民たちが川辺でご飯を食べ、そして可児や美濃加茂の人たちが川辺にご飯を食べに来る、そんな場所を作りたい。町民の方にこういった欲しい物がないか問いかけて、ここに取り込んでいく。複合的に土地を活用して、子どもが大きくなってもここで仕事ができ、できれば外からこちらに来て川辺町に住んでもらうような商業施設も考えているので、ポートしかやらないということではないということをお話します。

(Eさん)

まずは長江製陶の跡地を買うこと。それが始まりではないですか。それと2、3人の町議会議員の方にもお話ししたが、川辺町を良くしようと思って議員になられたのではないか。町長に反対してばかりではダメだ。危機感が全くないと思う。足を引っ張ることばかり言っているように感じる。議員は町長や執行部と一緒にしっかりと川辺町のためにやっていくべきだ。よろしくお願ひします。

(Fさん)

会議を開いても何も数字が出てこない。土地がいくらで処理費がいくらなのか試算されていない。皆さんも心配していたが、本当にこの土地は買えるのか。

委員会のメンバーが商工会の人ばかりではないか。この会議は諮問会議なのか住民のための会議なのか。大事な会議なので町議会も一緒になって考え、もっともっと住民に寄った会議であってほしい。

(Gさん)

サッカー少年団の代表をさせてもらっている。未来投資会議の「未来」とは子どもたちの未来を考えていくことが大切でなないかと思う。子どもたちが楽しく暮らせる町をつくるのが町の責任ではないか。

会議の内容は水辺のスポーツが主眼で、漕艇場があるからポートに力を入れるのは分かるが、競技人口は少ない。それよりもテニスコートやサッカー場が無いために、子どもたちが流出していってしまう。川辺町の人口を増やして活性化していきたいと考えるのであれば、そういうことも改善していく点ではないか。

会議は工場跡地の活用について進められているが、先程話しのあった学校統合をした場合、残った学校跡地の利用方法も考えられると思うが、ポートだけに限らず子どもたちのスポーツ振興のために町全体でいろいろな施設を充実させていくことが大切ではないか。今現在川辺町の子どもたちがどのようなスポーツをやっているのか、そこを応援していただくとよいと思う。

もう一点は、トレッキングコース設置の話があったが、とても良いアイデアだと思う。川辺町は名古屋から1時間ちょっとなので、川辺町の周りの山を

グルッと回れるようなコースを作れば、都市圏から愛好家に来てもらえるのではないか。

(Hさん)

この会議が始まった最初のほうにこのような会を開いて欲しかったというのが率直な感想だ。

レジャー施設によって人が集まるという構想があるようだが、近辺では美濃加茂市の昭和村や可児市の花フェスタ記念公園など、維持するのにとてもお金がかかると聞いている。民間活力を利用することもあるだろうが、人口1万人の町で施設を維持していけるのか疑問だ。8月上旬の町民ボート大会は過去20年でどれくらいの人が集まったのか、昭和村や花フェスタ公園の運営がどうなっているのかを聞きながら検討を進めていくのがよいのではないか。

先程の話しにもあったが未来の子どもに託すという意味で、全国でも稀な小学校を作るのもよいのではないか。岐阜市の隣の岐南町では給食費の無料化や保育所や幼稚園に入りやすいようにお金が安くなっている。未来の子どもたちに投資すれば岐南町のように人口が増えていくのではないか。

高齢化社会ということで、だんだん年寄りが増えて空き家も非常に増えていることから老人対策は大事ではないのかなと思う。小学校統合後の跡地には老人対策に使われればよいのではないか。税金を使う以上は多くの人利用できて、夕張市のように施設維持費で破綻するようなことのないよう十分考えていただき、老人向けの施設やあるいは子ども向けの施設が大事ではないかと思う。よろしくお願いします。

(Iさん)

ボートを進めていくのであれば、宿泊施設をもっと充実するべきだと思う。過去に大きな大会があったが、選手は宿泊のため美濃加茂や下呂に移動しなければならない。スポーツをする人間というのは疲れているので歩いていける宿泊施設が一番理想ではないかと思う。民泊というのもあるし、民泊であれば町民が収入を得られるし、農家からそういうところに食材を供給することもできる。

(Jさん)

町民の声を聞く機会をいただきましてありがとうございます。これを見ると芝のイベントスタジアムと書いてあるが、年に何回くらいやる構想であるか。年数回しかやらないのであれば、作っても意味がないと思う。ほかの方が言うように高齢者の方が気軽に集まれる施設だとか、放課後毎日子どもたちの元気な声が聞けるような施設の案を作っていただきたい。美濃加茂市でも水辺リンクという同じような施設ができるので、委員の皆さんは当然リサーチしていると思うが、近隣と似たような施設を造るのではなく、川辺町独自のものを造って川辺町に呼び込むのが良いのではないかと思う。

(Kさん)

2年前に名古屋から引っ越してきて川辺町民になった。とても素晴らしい町だと思う。隣の人たちが野菜などを持って来てくれて、こんなに嬉しいことはなかった。人の繋がりをすごく感じられた。

今までのお話を聞いていると、町は国に対して、また町民は町(役場)に対して要望することばかり言っているのが、町民の皆さん自身は何をしているかということをもっと自分たちから発信してほしい。私は川辺町が大好きなので、ネットなどで町の素晴らしいところをどんどん発信しているし、海外の友

達を泊めてあげると「素晴らしい！」と言われる。

サップは全国的にブレイクしているが、本当にそれを分かっているのか。先ほどの説明では文章を読んでいるだけで感情がこもっていない。

民泊についても、全世界で利用されている民泊サイトの「エアービーアンドビー（Airbnb）」に自分の家を登録したいと思っている。そこでは金儲けではなく身銭を切って手弁当で海外から遊びに来た人をおもてなししたい。町民の皆さんも町に対して要求を言うだけではなく、自分たちが出す方になれば川辺町が勝手に良くなると思う。私の先輩で、パリでファッションショーをするような有名なブランドを展開している方がいて、すごく儲かっているのでイベントなどお金を使いたいと考えている。そういった企業もいっぱいあるので、巻き込んでいくのも大事だと思う。

～意見交換終了～

(6) 町長あいさつ

まだご意見を言い足りない方もいらっしゃると思うが、皆さんからいろいろなご意見をいただいて、今日は触発されたことが大いにあった。まだまだ中間報告というところまでいっていないが、強い危機感を持ってやっていきたい。

未来投資会議はこれからも続くので、このようなオープンミーティングを何回も開催して、皆さんからの意見をたくさんお聞きし、取り入れていきながら会議を進めていきたいのでよろしくお願い申し上げます、お礼の言葉に代えさせていただきます。誠にありがとうございました。

(7) 閉会宣言 企画まちづくり課長